



④

東大阪の貸し工場

中小製造業が密集する地域が大阪にあります。JR城東貨物線（2008年から旅客輸送が始まり、東おおさか線と呼ばれています）の沿線です。大阪市の生野区、東大阪市、八尾市に広がります。その1つに衣摺（きずり）地区と洪川地区があります。隣接する地域です。車のすれ違いは困難ですが、縦横に道路が整備されています。そこに小工場が密集し、582事業所で3,998人の従業員が働いています（2006年「事業所企業調査」）。平均すれば7人ほどの従業員です。ミニ工業団地という風情です。

中嶋哲夫の

「人事も歩けば」



小工場の多くは、貸し工場に入居しています。1つの建物を7坪～30坪程度に区切り、その一つひとつを職人に貸す仕組み。シャッターが閉まり、パレットが片づけられていると、ガレージのようにも見えます。また、近隣には成功した中堅企業でしょう。4階建てや5階建てのビル本社工場も見られます。

不動産広告をみると、30坪の貸し工場を保証金60万円、月額12.6万円で借りることができます。もし設備をリースでまかなえば、少額の資金で開業が可能です。腕がよくて、顧客の信頼を勝ち取ることができれば、起業の可能性が多くの人に開かれています。



この地域は、江戸時代の河内木綿の産地です。その機械技術が核となって金属・機械工業が発展し、第二次大戦後に大阪市内から工場が引っ越しして、現在の姿になったといわれています。駅から距離があり、通勤しにくいゆえに住宅街として開発されず、地主が貸し工場や貸倉庫として土地を運用してきた歴史があるようです。現在も少しは農地が残り、田んぼで稲を乾かす光景も見ることができました。同時に、旅客鉄道を前提にしたマンションが工場跡に建ち始めてもいます。

日本における企業活動は弱まっているといわれます。実際、東京の大田区や東大阪市の中小企業は10年間で30%程度、事業所を減らしています。しかし、減少幅は東大阪のほうが少ないという説があります。それだけに、東大阪の貸し工場がもつインキュベーションは魅力的です。農家の方の資産運用の知恵、職人の技能、ビジネスで成功するイメージ。それらの合わせ技として、技能を身につけることの意味や可能性を信じさせてくれます。世界を動かしたアップル社もガレージから始まったようですから。

（MBO実践支援センター代表）

次号予告

2011年12月5日号 No.2620

【クローズアップ解説】

コース別雇用管理制度の現状と課題——金融業・保険業を中心に

■佐々木城夢

〈インタビュー〉植田寿乃氏に聞く
一般職の活性化と女性管理職の育成

◆コース別雇用管理制度の導入状況とポジティブ・アクションの推進状況

——「2010年度 雇用均等基本調査」から

■厚生労働省

◆2011年 人事・労務に関するトップ・マネジメント調査

■経団連

【今後の掲載予定】産労総合研究所調査「2011年 国内・海外出張旅費の実態」

編集部へのご質問
お問い合わせ

TEL: 03-3237-1611

FAX: 0120-703-641

メールアドレス:
edt-a2@sanro.co.jp